

耕平さんかわら版

皆さん、こんにちは。今年もあとひと月足らず。早いものですね。この冬は鳥インフルエンザや新型インフルエンザがはやることが懸念されています。よく食べて、よく寝ること、それが最良の予防策です。健康にご留意ください。インフルエンザ騒動について教えてほしいとのご要望がありましたので、今月は鳥インフルエンザ、新型インフルエンザについてお伝えします。

インフルエンザ

ウィルスの種類

インフルエンザウィルスは、その構造の特徴によって三種類に分かれます。A型、B型、C型です。もうひとつ、別の分け方があります。それは、ウィルスの表面にある突起物による分類です。突起物には、HというものとNというものがあります。HやNは、突起物の略称として科学者が命名したものです。喩えて言えば、A型、B型、C型は「にわとり」の品種、突起物は「ときか」の形とも言えます。さらに、Hには十五タイプ、

Nには九タイプあります。したがって、HとNの組み合わせによって、十五×九＝百三十五タイプのウィルスが存在することになります。すごいですね。その百三十五タイプがA型、B型、C型の三つに分類されます。そこで、新聞やテレビで報道される際には、「A型H5N1」(A型で、Hはタイプ5、Nはタイプ1のウィルス)などと表現されることになるのです。

鳥インフルエンザと

新型インフルエンザ

このうち、A型が病原性の高い鳥インフルエンザウィルス。このウィルスが鳥だけに感染しているうちは、問題は鳥の世界だけに限定されます。ところが、突然変異で人間にも感染するようになるのが新型インフルエンザウィルスです。そして、昨年从今年にかけて、突然変異の兆候が東南アジアで始まっています。つまり、人間に感染し、死者も出ているのです。世界的に緊張感が高まっています。古い話ですが、一九一八年から



一九二〇年にかけて世界で大流行して数千万人の死者を出したのがスペイン風邪。これも新型インフルエンザです。

新型インフルエンザの予防と流行対策には巨額の資金が必要で、大量のワクチンと薬を用意するためです。こうした財源を捻出するためにも、はありませぬ。にもかかわらず、相変わらず役所のムダ遣いや不必要な事業予算のニュースが後と断ちませぬ。困ったものです。

新型インフルエンザの懸念は今年の冬だけではありません。鳥インフルエンザが流行している限り、常に新型インフルエンザのリスクがつきまといまふ。来年の通常国会でも、小泉さんと鳥インフルエンザ、新型インフルエンザ対策について、シツカリと議論したいと思いまふ。ところで、小泉さんの顔が何だか鳥っぽく見えるのは僕だけでしょうか。

第2回 弘法さんを語る会

日時:12月5日(月)午後1~3時

テーマ:弘法大師の教えと覚王山史跡探訪

場所:いち倫(日泰寺境内西側和風喫茶)

参加費:500円(茶菓代)

講師:大塚耕平(かわら版執筆者)

お申込は、かわら版配布スタッフにお声かけいただくか、大塚耕平事務所(052-757-1955)までご連絡ください。会場はあまり広くありませんので、どうぞお早めにお申し込みください。ご来場をお待ちしています!!

(ご参考) 第1回は昨年12月、テーマは「弘法大師の生涯」

※「覚王山ソクソクコーナー」はお休みさせていただきました。

